



創造性に満ちた多様で活力ある産業の振興を目指して

商工観光労働部長 富岡 忠勝

我が国は、バブル崩壊後、「失われた10年」という言葉に代表されるように、大変厳しい経済環境の中で新しい世紀を迎えました。この間、国の経済対策により、一時期の危機的な状況は脱し、情報通信関連を中心に業績の回復が見られるものの、個人消費は一進一退を繰り返し、雇用情勢も厳しい状況が続いており、未だ本格的な自律回復過程に入ったとは言い難い状況にあります。

御承知のように、経済のグローバル化やIT革命の急速な進展、少子・高齢化社会の到来、環境問題の顕在化など、私たちを取り巻く時代環境は、大きく且つ急速に転換しつつあります。

このような状況の中で、県では、21世紀の新しい鹿児島を創造するため、「共生ネットワークで築く心豊かで活力あふれる『かごしま』」を基本理念とする「21世紀新かごしま総合計画」を、本年1月に策定し、本県が目指すべき将来目標を明らかにするとともに、その実現に向けて展開方策をお示ししたところであります。

この計画においては、「創造性あふれ力強く伸びゆく産業の振興」を県政の重要課題として位置付け、「新事業の創出」や「競争に強い地域産業づくり」などの施策を通じて、「創造性に満ちた多様で活力ある工業、商業・サービス業の振興」を図ることとしています。

県では、これまで、(財)かごしま産業支援センターの組織として鹿児島大学地域共同研究センター内に設置した、「産学官連携推進室」を中心に、ニーズ・シーズのマッチングや共同研究のコーディネートを推進するとともに、工業技術センターにおける技術開発、技術支援に積極的に取り組んでいるところであり、各種の相談や産学官共同研究も着実に進展しております。

今後、福祉、環境保全、資源リサイクル、IT、観光産業など新しい価値創造を形成する産業群は

拡大し、我が国経済の今後の成長を担う存在になりつつあります。

したがって、地域経済の持続的な発展を図るためには、社会経済の変化に一層対応した、新技術・新製品の開発や新たな分野への進出など、新事業の創出や起業化に向けた取り組みを一層強化する必要があります。

県内にも、農業関連分野の機械装置や液晶・パソコン関連部品で大きなシェアを持つ企業や、(財)機械振興協会の新機械開発賞に選定された高い技術力を有する企業など、それぞれの得意分野を生かした特長ある経営をしている企業が存在します。

産業革命やIT革命に見られるように、画期的な技術の出現が社会経済の変革をもたらし、社会経済の変革がさらに技術の発達を促すのではないのでしょうか。社会が成熟し、モノがあふれている今日にあっては、新たな価値観を社会に示す市場創出型の技術開発が重要であると考えます。時代を先取りする先見性と自社の得意分野を生かした「選択と集中」によって、新たな価値の創造に向けた積極的な取り組みが求められています。

企業の皆様には、新たな技術開発や新分野への進出を支援する国や県の施策を積極的に活用して、新事業の創出や起業化に取り組んでいただき、本県地域経済の発展を支えていただきたいと考えております。

最後に、今年9月には、「中小企業団体九州大会」が、10月には「九州・沖縄ブロック技術・市場交流プラザ」が、それぞれ鹿児島市で開催されます。21世紀における企業経営のあり方や新事業の創出等に関連した講演や活発な討議が期待されますので、これらへの積極的な御参加をお願いいたします。